

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	雪の時は凍結防止剤を撒いている。帰る際にはお子様に気を付けていただけるよう声掛けをしている。	事業所が2階にあり階段の昇降の際には、転倒防止のため今後もお声がけさせていただく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝の掃除を徹底している。感染対策防止ガイドラインに沿って予防に努めている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		スタッフ全員での業務改善についての話し合いと対応を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様に調査アンケートを実地し、業務改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPにて公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は利用者と社内のみで行っている。	今後必要に応じて実施を検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に事業所内研修を実施している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一されたアセスメントシートを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントに基づいて支援内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		常に児童発達支援支援計画に立ち戻りながら、支援内容を計画・実施している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		お子様の情報を共有し、ケース検討会を開催して立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様一人ひとりの特性、気持ち、興味に合わせて効果的に楽しく学べる支援を追及している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	○	現在のご利用が1名様のため、個別の療育支援をさせていただいている。	今後利用人数が増えた際には、必要に応じて小集団療育等を実施していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を実施し、職員間での情報共有を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を実施し、職員間での情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録を見直しながら支援に取り組んでいる。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		期間ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い情報共有に努めている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い情報共有に努めている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後専門機関の研修等に参加し、情報共有に努めていく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		地域交流において、限られた時間での実施が難しいことから行っていない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自治体が開催している部会等には参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	支援のフィードバックの際に、ご家庭での対応方法について提案している。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規定、利用者負担等について、契約時に説明させていただいている。運営規定に変更があった際には内容を説明し同意いただいている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画について説明させていただき、保護者様からの同意をいただいている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じている。またご要望があれば個別に面談をさせていただいている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染予防により実施できていない。今後は様子を見ながら連携が図れる機会を設けていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所に受付者や解決責任者を設定している。専用のお電話窓口を設定し、いただいた相談に関しては迅速かつ適切に対応している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「やまから通信」を発行している。教室内にイベント等の掲示している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定している。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様や保護者様の状況に合わせて実施している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定し、研修を実施している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回の防災訓練を実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートへのご記入や面談を通して確認させていただいている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食事提供は行っていません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		山形の校舎間でヒヤリハット報告書を共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し、研修を実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当するお子様のご利用がないため実施していない。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波 校

保護者等数 1（児童数）1：回収数：1 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				・広く整理されています。	これからもお子様活動しやすいスペースの維持に努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1				・適切です。	これからも配置数と専門性の維持に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1				・階段や入口に注意が必要だと感じます。	降雪時の除雪等、安全にご利用できるように工夫してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				・清潔に保たれています。	今後も清掃にも力を入れ、清潔な環境づくりに努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1				・適切です。	今後もお子様と保護者様のニーズと課題をしっかりと分析し、適切な支援計画の作成に努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			1			
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか			1			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか			1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		1			・毎回の支援の内容をお聞きしています。	今後も、お子様や保護者様とのつながりを大切にしていきたいと思います。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1				
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか		1			・クラゼミで褒められることが大変うれしいようです。	今後も、お子様にとって楽しめる場所であるよう、活動内容の工夫に努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1				・通いだしてから成長を感じています。	今後もお子様の成長につながる、質の高い療育支援の提供に努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。